



奥松島縄文村再生プロジェクト vol. 2

蕎麦収穫まつり

11/19^土・20^日

11/19 がんばれ！ 里浜貝塚わいわいトーク

【場所】 仙台市縄文の森広場
【参加費】 無料

【プログラム】
14時 縄文の森広場 見学&解説
14時30分 企画展「里浜貝塚」見学&解説
15時 座談会「がんばれ！里浜貝塚」
<司会> 中山千夏(作家) 佐古和枝(関西外国語大学教授)
<語り手> 岡村道雄(奥松島縄文村歴史資料館名誉館長)
鈴木三男(東北大学教授)
田中則和(縄文の森広場所長)

【問合先】 仙台市縄文の森広場 TEL022-307-5665



<左上から>
語り手：岡村道雄
鈴木三男
田中則和
司会：中山千夏
佐古和枝



みんなでわいわい！ 11/20 収穫祭

【場所】 奥松島縄文村歴史資料館
【参加費】 無料 / 要予約
【プログラム】

10時 集合(さとはま縄文の里史跡公園)
10時10分 蕎麦の収穫 (タブの木前の畑)
12時 白井貴子さんミニコンサート
13時 みんなで縄文トーク「縄文を活かした宮戸の復興」
14時~15時 里浜貝塚巡り(自由参加)

【問合先】 奥松島縄文村歴史資料館 TEL0225-88-3927



「蕎麦で里浜の再生を」プロジェクト実行委員会
事務局：東北大学植物園 (TEL 022-795-6788)
問合先：奥松島縄文村歴史資料館 (TEL 0225-88-3927)

ここにあるすべてが 4000年前にタイムスリップ

縄文の森広場は、約4千年前の大きな縄文ムラであった山田上ノ台遺跡を保存し活用するための施設です。ガイダンス施設では、縄文時代の生活の様子をムラの復元模型などで展示するほか、山田上ノ台遺跡を中心とした出土遺物の展示をおこなっています。野外の広場には、屋根に土をふいた縄文時代の竪穴住居（たてあなじゅうきょ）を3軒復元し、クワなどの広葉樹で縄文時代の植生を再現しています。



ミニ企画展

「縄文人のなりわい—国史跡里浜貝塚からのメッセージ」

縄文時代のなりわい(生業)シリーズの第3回目は宮戸島(東松島市)の国史跡里浜貝塚をとりあげます。里浜貝塚は縄文時代の海辺のムラのなりわい(生業)を語る我が国の代表的な遺跡として平成7年(1995)に国史跡、平成12年には資料の一部が国の重要文化財に指定されています。「さとはま縄文の里史跡公園」を中心に縄文時代の地形や景観がよく残り、保存状態の良い貝塚が広がっています。その規模は東西約800m、南北200mにおよび、日本最大級で、松島湾沿岸地域の大きな集落の一つであったと考えられています。

大震災を経験して、わたしたちは、改めて約7000年前から4000年前にわたって、自然災害にもめげず生き抜いた里浜の縄文人のなりわいの知恵に学びたいと思います。

東松島縄文村
歴史資料館

ひと足のばして 貝塚に囲まれたそば畑へ

～ 縄文人が見ていた海。縄文人が暮らした里浜。足をのばして同じ場所に立って縄文を体感しよう！



史跡公園全体と松島湾を一望できます。すぐ側には縄文時代の住居跡があります。



公園内は四季折々の自然に恵まれています。散歩コースにもオススメです。



9月初旬に行われた“種まき祭”9月末には開花を迎えました。



さとはま縄文の里史跡公園



1、縄文工房

里浜の風を感じ、海を見ながらの土器や釣り針づくり、里浜の旬の食材で作る縄文料理などいろんな縄文生活が体験できます。

2、縄文の原風景

里浜縄文人が見たままの海を見ながら、縄文を体験・体感できる今までにない史跡公園です。

3、本物の貝塚をそのまま史跡公園の入り口に位置する貝層観察館。平成20年にオープンしました。

4、貝層観察館

約2,500年前の里浜貝塚の剥ぎ取りを幅8cm、高さ2.5cmに渡り、室内の全面に展示しています。縄文人食生活や技術をかいま見ることができます。